

前回の審議会における主なご意見等

1 市民説明会の開催結果について

- ・ 主な意見、質問等に対する市の回答はどのような内容なのか。
- ・ 当日のアンケート結果を見ると、高齢者の割合が多く若年層の意見があまり反映されていない。
- ・ 若年層を対象にした説明や周知を進める必要がある。
- ・ 今回の参加者は自治会長やじゅんかんパートナーなど、ごみに関心の高い人、3つのプランに前向きな姿勢の人が多かったのではないかと。
- ・ 参加者の中には有料化に賛成の意見もあり、思っていたよりもスムーズに行く印象を持った。
- ・ 3つのプランが結論のように感じるが、果たしてそれで良いのか。3つのプランについては、きめ細かく市民の意見を吸い上げて欲しい。
- ・ アンケート調査として回答数が少ない。
- ・ 市川市の世代別の人口はどうなっているのか。

2 家庭ごみ有料化制度について

- ・ 中身を議論するには、有料化の目的をしっかりとしておく必要がある。
- ・ 市としてどのくらいの削減目標を置いているのか、目標を立てて、それを市民に分かりやすい形で見せていく必要がある。
- ・ 有料化になると、ごみを出す回数が少なくなり、ごみ袋に詰めて出すようになるという声がある。
- ・ プラスチックについて、資源物（プラスチック製容器包装類）とごみの判断が難しく、それがはっきりしないと有料化した場合に困るのではないかと。
- ・ 市民の感覚では、今まで税金でごみ処理していたので、有料化した場合は税金が安くなる、または一定量は無料になると考えるはずであり、排出量単純比例型を納得してもらう説明が必要である。
- ・ 野田市にいる親類の話では、一定量無料分の範囲を超えたことがないという。市川市と異なり山もあるのでコンポストも利用されている。市川市で一定量無料型が採用できれば魅力的ではないかと。
- ・ 家庭ごみ有料化の目的がごみの減量・資源化を図ることだが、最初のごみが減るが、そのうちに横ばいになると知人から聞いた。
- ・ 有料化による手数料収入の使い道について、市民に分かりやすく説明した方が良い。
- ・ 若い人に話を聞くと、すでに指定ごみ袋にお金を払っているのではという意見が多かった。

3 ごみ収集回数の削減・戸別収集方式の導入について

- ・パッカー車が入れない狭い道が多いので、戸別収集が現実に可能なのか、現地調査しないとイケないのではないかな。
- ・戸別収集とステーション収集（集積所収集）との併用もあり得るのかな。近所の仲が良いので戸別収集にしなくても問題ない。全部戸別収集になると、かえって一番奥の家の人気が遣ってしまう。
- ・どのくらい費用が変化するか議論になるのではないかな。費用計算が必要ではないかな。